

I C T新事業創出推進会議（第5回）議事概要

1. 日時

平成26年3月13日（木）10時00分～12時00分

2. 場所

総務省8階第1特別会議室

3. 出席者

(1) 構成員（敬称略）

三友座長、谷川座長代理、岩浪構成員、岡田構成員（岡村代理）、木谷構成員、久保田構成員、篠原構成員、島田構成員、清水構成員、関構成員、千葉構成員、富田構成員、野村構成員、林構成員、松本構成員、宮部構成員、森川構成員、安本構成員

（以上18名）

(2) 総務省

桜井総務審議官、鈴木官房総括審議官

小笠原情報通信政策課長、田原技術政策課長、吉田政策統括官、南官房審議官、渡辺官房審議官、岡崎情報流通振興課長、鈴木衛星・地域放送課長

4. 議題

- (1) 第4回会合における議論
- (2) 構成員からのプレゼンテーション
- (3) 意見交換
- (4) その他

5. 議事概要

篠原構成員、宮部構成員からプレゼンテーションの後意見交換が行われた。主なやりとりは以下の通り。

【関構成員】 2020年に向けたICT技術の導入については、ロードマップ的なものも入れてもう少し具体的なイメージをつくっていった方がいいのではないか。

【久保田構成員】 オリンピック時に想定されるトラブルにどう対応するかを考えて整備する必要がある。一方で平常時にどう使っていくかまた、オリンピックのあとにそれをどう使い続けるかということも課題になる。

【安本構成員】 スマートフォンでできることの可能性、アプリケーション1つでやれる可能性はどんどん広がっている。アプリケーションとスマホだけで楽しめるように基盤をしっかりとつくっていくことが必要。

【篠原構成員】 ビッグデータを扱うに当たっては、パーソナルデータの取扱いに関する安心・安全なガイドラインがないと使いこなせない。基盤の整備と併せてこのガイドラインを作っていくことが大事。

【篠原構成員】 災害時に大事なことが災害まで誰も使ったことがないということでは災害時に誰も使えない。いかにこれを平時に活用するかということが課題。

【篠原構成員】 新しい技術を新しい形態、新しいビジネス、新しいモデルに置きかえていける環境でイノベーションが起きやすい。そういった環境作りが大事。

【千葉構成員】 秘密計算技術はビッグデータやオープンデータが実現には必須になるだろう。データの保全部は政府一丸、日本が一丸となって担保する動きが必要ではないか。

【久保田構成員】 ICTを使って豊かな経験、これまでしたことのないような経験をしてもらおうといった、楽しい側面をもう少し前面に出すことも必要。

【谷川座長代理】 IT化が進んでいない分野の事例として、介護のケアマネージャーが施設の選択、書類作成をするためのシステムがない。これはコスト負担能力がないためだが、この分野のシステム化ができるといういろいろなものが出てくる可能性があり、そのよう

な観点から国の役割を見直すことも考えられるのではないか。

【野村構成員】 技術のイノベーションだけでなく、それをどう使うという発想のイノベーションがもっと重要になる。

【林構成員】 新しい産業は運送業などのタッチポイント型の従来産業との組み合わせでも出てくるだろう。

【宮部構成員】 これからは国境を越えてさらに、ヒト・モノ・カネ+データが行き交う時代になる。その際に通貨の壁、言語の壁、制度の壁、権利の壁など様々な壁があるが、不要なものについては取り払って、国内外のヒト・モノ・カネ+データの行き来をスムーズにし、快適・便利の実現、安心・安全な基盤づくりを行う。

以上